

熊本県学力向上研究指定校について

1 熊本県学力向上研究指定事業（総合的な探究の時間）について

（1）研究主題

「牛深・天草の地域資源を題材に、地元からグローバル社会に貢献できる人材育成プログラム（DBP）～地域と未来を担う人材の育成～」

（2）具体的な取り組み内容

ア 地域との連携の円滑化

地域（天草市役所、牛深支所など）や外部機関（熊本県立大学など）との連携を強化。天草支所の協力による調整業務により、以前よりスムーズな協働が実現。

イ 探究活動の引き継ぎシステム構築

過去の探究活動（例：牛深ラーメン、観光パンフレット、牛深イルミネーション）をブラッシュアップし、活動の継続。現在、引き継ぎを円滑に行うための手順や基準を整備。

ウ アンケートによる意識調査

生徒・教員双方の意識調査を実施。1学期の調査では、探究活動への肯定的な回答が約8割を占めるなど高評価。過去の活動の引き継ぎにより、生徒が取り組みやすくなったとする意見が多い。

2 総合的な探究の時間について

（1）目標

「牛高 esse（エッセ）」として、生徒に以下の資質・能力を身につけさせることを目指す。

- ・コミュニケーション能力
- ・社会性
- ・課題解決能力
- ・情報活用能力
- ・自己肯定感
- ・セルフマネジメント能力

（2）探究活動の具体例（地域資源をテーマとしたプロジェクトを展開）

ア 2年次

- ・ロゲイニング体験：地図を活用し、地域を探索しながら課題解決能力を育成。プレロゲイニングの準備活動を経て、本番（11月17日）を実施。地域を理解するためのフィールドワークとして活用。

イ 3年次

- ・牛深ラーメン：地域の特産品を活用したラーメンの開発。
- ・観光パンフレット作成：観光資源を魅力的に紹介する資料の制作。
- ・牛深イルミネーション計画：地域活性化を目指したイベントの企画。
- ・カプセルトイ企画：地域をテーマにした商品企画。

※これらの活動には、牛深支所、牛深まちづくり協議会、天草宝島観光協会、イルミネーション実行委員会、熊本県立大学など多様な機関が連携。

3 課題

- ・ 探究活動の引き継ぎ基準が曖昧

生徒が「やりたい活動」と職員・地域が「引き継いでほしい活動」の間に齟齬が生じている。

- ・ 教職員の負担増加

探究活動の充実に伴い、教職員が時間外勤務や休日活動を求められることが増加。

4 今後の取り組み

- ・ 探究活動の継続性を高めるための、明確な手順と基準を設定。
- ・ 生徒の意見を反映しつつ、地域や社会に価値をもたらす活動のさらなる深化。
- ・ 職員の負担軽減につながるコーディネーター配置の可能性の検討。